

N.O. 英語英文学科・2 年次

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由（きっかけ、留学を考え始めた時期）

私は高校生のときに短期留学を経験して、大学では絶対長期で行きたいと思っていたので、1 回生の初めから留学の情報収集や国際交流センターの行事に参加していました。就活の時期を考えると 2 回生の秋から 1 年間行くのがベストだと思ったので、1 回生の冬に受けた TOEFL で基準点を超えることができ本当に良かったと思います。

② 留学を目指してから出願までの英語学習方法（役に立った教材など）

1 回生は必修が多く、正直日々の課題で精一杯で TOEFL の勉強まで手が回らなかったのですが、夏休みに TOEFL Camp という行事で初めて TOEFL の問題を解きました。ここで渡された、トフルゼミナールが出している参考書を使ったり、秋からは図書館にある過去問を解いていました。

③ 留学決定から出発までの準備期間（語学勉強、ビザ申請手続きなど）

決定してからも、課題とバイトと部活で忙しい日々を送っていたので特別な勉強はしていませんでした。課題をこなして、通学時間が長いので洋楽や海外ドラマ、英語の動画を見ていました。また、アメリカだと寮に入るための予防接種が必須で「髄膜炎」など日本であまり取り扱っていないものが多く病院を探すのが大変でした。ビザ申請手続きも夏休み前だと混むので、早めにしておく方がいいと思います。

④ 現地到着後（空港からの移動手段・時間、オリエンテーション、諸手続きなど）

MBC に近い空港が 2 つあるのですが、私はシェナンドー空港を利用しました。MBC には Ambassador という留学生のお世話をしてくれるボランティアの生徒がいて、その子たちが車で迎えに来てくれました。空港から MBC までは約 30 分だったのですが、景色が緑・馬・羊しかなくて衝撃だったのを覚えています。私は余裕を持って 1 日早めに着いて寮に入ることができました。オリエンテーションは 1 週間程あって、主に留学生と Ambassador との交流や、Freshman と交じってイベントに参加しました。

⑤ 語学研修期間

秋スタートの留学なので、語学学校には行っていません。

⑥ 正規科目履修期間

◆大学の施設・環境について

ヴァージニア州のスタントンという町に MBC があります。本当に田舎で、緑しかありません。ウォールマートという大きいスーパーまでバスで 20 分かかります。私は生まれてから都会にしか住んだことがないので初めは驚いたのですが、大学内は白い建物と緑がいっぱいとても美しいキャンパスなので快適に過ごすことができました。ダウンタウンはとて

もかわいい町で、映画館やカフェなどがあります。特に私はよく友達とアイスクリームショップとインド料理レストランに行っていました。

⑦ 履修科目

秋学期は留学生必修の科目が多かったです。春学期になると全て自由に授業をとることができました。MBC は体育や音楽の授業も充実しているので息抜きにいいと思います。

（秋学期）

*MBC101 Orientation to College & INT130 American Culture

留学生必修です。Advisor の先生がミュージアムなどアクティビティーに連れて行ってくれました。また、毎週社会学やジェンダーなど様々な専攻の先生がアメリカについて話してくれました。簡単な Essay 提出と最後にプレゼンがありました。

*ENG103 English as a Second Language

これも留学生必修なのですが、選択可能なので取っていない子もいました。基本的な文法や Essay の書き方が中心なので退屈だと感じることもありました。

*COMM100 Public Speaking

留学生推奨の科目で、プレゼンが中心の授業です。数人のネイティブの生徒と交じってグループで話し合い→プレゼンの繰り返しでした。初めは英語のプレゼンが恥ずかしかったのですが、次第に楽しくなってきたのでプレゼンのスキルも身に付きました。これは本当におすすめです。

*ENG111 Introduction to Literature

英文学の授業です。19 世紀のアメリカ文学から詩まで様々な作品を読みました。Essay の提出が多くて、しかも時々抜き打ちの小テストがあったので苦労しました。でも教授がとても親切な方で、よく授業後に質問に行き行って助けてもらい何とか乗り切りました。

*PHE 100C Fitness

ヨガやダンス、ウォーキングなどしていました。毎週パワーポイントの提出、学期末にポートフォリオの提出がありましたが、休講も多くてちょうどいい息抜きになりました。

*PHE144B Intermediate Ballet

私は日本でバレエをしていたので、MBC でもバレエの授業を取りました。MBC から 5 分歩いたところにあるバレエスクールに行き行って一般の方と交じってレッスンを受けていました。課題の提出もなく毎週行くだけなので楽しかったです。

（春学期、メイターム）

*AS251 Asian Women

アメリカの視点で見るアジア人の女性がテーマの授業です。日本、韓国、中国、インド、パキスタンの女性差別について議論していました。Reading と Writing の量がすごくて、鍛えられました。日本がテーマのときは意見を求められることも多く、生徒もアジアに興

味がある子ばかりなので話し合いやすかったです。

***ENG216 Introduction to Shakespeare**

同女の Shakespeare Production とそっくりで、生徒が立候補して役を決め演じながら作品を学ぶ授業でした。1 学期で 4 作品読み、3 回大きな Research Paper を提出しました。教授が English のボスだったので Paper の書き方には厳しかったけど、おかげで Writing に強くなりました。

***FILM275 Women in Film**

女性にまつわる映画の授業です。女性監督や女優についてのディスカッションが中心でした。毎週火曜に映画を観て木曜に課題提出の繰り返しで、もちろん字幕はないので集中しないと内容が分からず、春学期で一番苦しんだ授業だと思います。でも日本がテーマの映画や 1930 年代のハリウッド映画、フランス、チェコ、サウジアラビアの映画などを観て、世の中にはこんなに素晴らしい映画がたくさんあるのだと実感しました。

***THEA111 Voice, Diction, and Oral Reading**

発音や発声、演技の授業です。発音を直してくれるし、人前で発表することに慣れるいい機会になりました。2 週間に 1 回の発表と毎回 Essay 提出がありました。初めは演技に抵抗があったのですが、最後の発表は好きな映画の 1 シーンをとりあげて友人とペアで演じて楽しかったです。

***BUAD 202 Organizational Behavior & Interpersonal Communication**

メイタームに取った、ビジネスとコミュニケーションの授業です。メイタームは毎日授業が 3 時間、これが 3 週間続く、つまり課題を毎日しないといけません。しかも毎日テキスト 100 ページ近く読んでサマリー書いて・・・の繰り返しで夜遅くまで課題に追われていました。留学中一番勉強した時期だと思います。授業はグループワークが多くて気楽にコミュニケーションについて話し合っていました。

***PHE139B Pilates**

ピラティスというと機械を使って柔軟性を高めるというイメージでしたが、授業ではマットを使ってポーズするだけなので、いまいちヨガとの違いが分かりませんでした。簡単なテストと Essay 提出がありましたが、普通に出席していたら単位は取れます。

***PHE144C Advanced Ballet**

これも前学期に引き続きバレエスクールに行っていました。たまに高校生の上質なクラスと交じることがあって、アメリカ人のスタイルの良さに感動していました。手足の長さ、顔の小ささは永遠の憧れです。そして、やはり白人が多くて、アメリカではバレエ＝白人のスポーツという考えがあるようです。こんな視点も日本ではできなかったのいい経験になりました。

⑧ 授業、レポート、定期試験

勉強量の多さは予想以上でした。定期試験は自分で好きなように組めるシステムなので良かったです。また、私は Writing Center というレポートのチェックをしてくれるところをよく利用していました。図書館も 12 時まで空いています。（なんとテスト期間中は午前 2 時まで！）

⑨ クラブ、課外活動、ボランティア活動

「COSMOS」という国際交流クラブに入っていました。不定期にあるミーティングで話し合いや映画を観たり、ハロウィンパーティーでは仮装して集まり、カラオケ大会、インターナショナルフェスティバルなどに参加しました。みんな留学生に興味ある子なので楽しく過ごすことができました。

⑩ 現地での住まい（語学研修期間、正規科目履修期間）について

寮は MBC が決めてくれました。例年と違って Freshman が過ごす寮になり、留学生が同じフロアに固められました。部屋にゴキブリが出たこともあり、古い寮で有名なのですが（他の寮はお城みたいにきれいです）食堂まで 1 分、図書館まで 2 分、教室まで 5 分みておけばいい距離なので過ごしやすかったです。食堂はあまりおいしくないことで有名でサンドイッチ・パスタ・ポテトなどファーストフードが中心なので、私はひたすらベーグル、シリアル、サラダを食べていました。

⑪ 長期休暇の過ごし方

私は休暇の度に旅行に行きました。Thanksgiving のときは韓国人・日本人の友人 5 人でワシントン DC へ。ブラックフライデーというアメリカで有名なバーゲンの日には夜中にショッピングモールに行きました。Winter Break も韓国人&日本人 4 人でフロリダ→NY へ行きました。フロリダでは憧れのディズニーワールド、ユニバに行って全てまわることができました。Sea World ではフロリダで一番怖い絶叫アトラクション「Manta」に乗って最高でした！その後 NY に向かいカウントダウンに参加しました。もちろんカウントダウンの瞬間は感動したのですが、あんなに寒い中 12 時間も外でひたすら待つという経験、予想以上につらくて二度と経験したくないです。Spring Break は一人で 2 回目の NY へ。アムトラックで 6 時間かけていきました。2 回目ということで大好きなミュージカルをたくさん観たり、バレエのレッスンを受れたりしてのんびり過ごしていました。最後は帰国前に 10 日ほど韓国人 2 人と私で NY→ボストン→ナイアガラ→ラスベガス→LA の順に旅行しました。中でも、グランドキャニオンには圧倒されました。

⑫ 留学期間中の就職活動の取り組み

帰国が 3 回生の 5 月で十分間に合うので、特に何もしていませんでした。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

留学中は毎日が充実していて、様々なバックグラウンドを持つ友人と出会うことができました。友達とおしゃべり、誕生日パーティー、課題に苦しむ・・・など友達と過ごした全体的な日々が思い出です。ソチオリンピックのとき韓国人の友人と一緒にフィギュアスケートを見たのも面白かったです。旅行にたくさん行くことができたのも素敵な経験になりました。特に NY は 3 回も行くほど大好きな場所です！

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

やはり課題が多くて大変でした。また、私はルームメイトが韓国人だったので韓国人のグループと一緒にいることが多かったのですが、韓国語をよく話していました。一緒にごはんを食べるときも韓国語を使い、部屋で数人がたまって夜中に大きな声で韓国語トークをしていたので注意することもありました。私は同じテーブルに一人でも違う国の人がいたら英語を使うのがマナーだと思うので、不愉快な気持ちになることがありました。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

授業中に対する態度の違いです。日本の大学では、出席するだけ・レポートさえ提出すれば簡単に単位を取ることができるので、いかに自分が受け身でいたかと感じました。アメリカでは授業中意見を言うのが当たり前です。また、平日は勉強して週末はクラブに行くなど、オンとオフの切り替えが上手な子が多かったです。あとはアメリカの食生活にヘルシーという考えはありません。普通はファーストフードだし、ベジー（菜食主義者）の子はサラダばかり食べていて極端でした。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

良かった点はどの授業も少人数で、生徒と教授の距離が近いところです。教授は親切な方ばかりで本当に助けられました。日本語のクラスもあって、アジアに興味のある生徒が多くて話しやすかったです。悪かった点は、田舎なので不便なことがありましたが、勉強するには最適な環境だと思います。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコン、スマホ（Wi-Fi 接続できるもの）、衣類（捨ててもいいもの）、ドレス（パーティー用に 1 枚持っておくと便利です）、化粧品（アメリカのものは刺激が強いことも）、日本食（現地だと高いです）、洗濯ネット、圧縮袋（アメリカでは見かけませんでした）

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

リスニングはいつの間にか聞き返すことがなくなりました。TOEIC の問題もはっきりと聞き取れるようになって驚いています。スピーキングも初めは何を話していいかわからなかったのですが、ネイティブのマネをしているうちに楽しく話せるようになりました。そして大量の課題をこなしているうちに自然とリーディングとライティングのスピードが上が

って抵抗を感じることはなくなりました。語学力の向上はもちろん感じますが、私はずっと実家暮らしだったので外国で全て一人で解決するという点においても成長したと思います。人前で何かすることに度胸がついたし、外国人と話すことが大好きになりました。でも、一人では乗り越えることができなかつたと思うので家族や友人に感謝の気持ちでいっぱいです。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

迷っているなら絶対に行くべきです。TOEFL の勉強は大変ですが、乗り越えたら素敵な留学が待っています！私自身、留学という夢が叶って嬉しかったものの、行く前と初めのころは不安でいっぱいでしたが「どうにかなる！やるしかない！」の精神で頑張ってきました。とても充実した 1 年になること間違いなしです。

IV. 将来の目標

今後の進路、将来の目標・夢

留学を経て、将来は海外に関わる仕事をしたいと改めて感じました。私の場合、往復共に日系航空会社を使い、そこで働く国際線 CA の方を見て、憧れていたものがより具体的になりました。ただ、CA だけと決めるのではなく幅広い視野を持って就職活動に臨みたいと思います。

V. 写真



（帰国前の旅行でグランドキャニオンにて、友人に撮ってもらいました。周りの観光客に Amazing!! と言われました！）



（大雪で休講になったときに留学生の仲良しメンバーで雪だるまを作りました。この前にもそりで滑ってはしゃいで楽しかったです。）